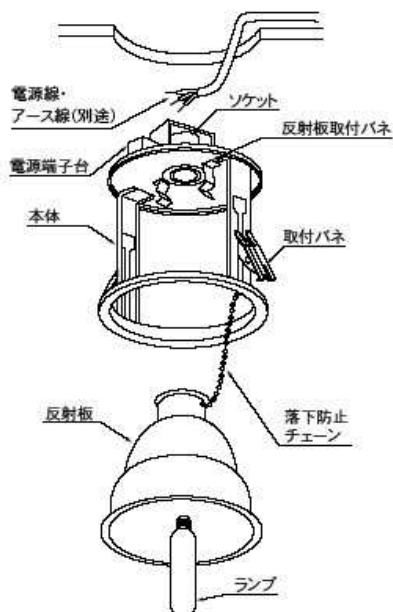


[型番] ED-4189SB・4260SA/B・4261WA

◆ 各部の名称 この図は一部省略抽象した共通部品図です



◆ 適合ランプ・安定器 (別売)

ランプ	口金	適合安定器		
		100V	200V	100V/200V
セラメタ (旧称パナビーム) 拡散型 70W×1 MT70FCE	E26	K-853H	K-854H	K-1018N
CDM-TP 拡散形 70W		K-973N		
CDM-TPI/F 70W		-		K-980NA
ハイラックスランプ拡散形 70W MT70F		-		K-1037N
HCI-TE 拡散形 100W		-		K-1019N
HCI-TE 100W		K-855H	K-856H	
セラメタ (旧称パナビーム) 拡散型 150W×1 MT150FCE		K-1009N	K-971NA	
CDM-TP 拡散形 150W		K-697HA	K-698HA	K-1013N
CDM-TPI/F 150W		-		
ハイラックスランプ拡散形 150W MT150F		-		
セラルクス拡散形 150W MT150FCEH	-			

※ハイラックス 150W の 2500K ランプは使用できません。

⚠ 適合ランプ以外のランプは、絶対に使用しないでください。火災・器具故障の原因となります。

⚠ ランプ交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

⚠ 3年以上お使いいただいた器具配線は、安全のため1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆ 適合信号制御器(別売)の接続台数

調光が可能なランプはセラルクスのみです。他メーカーのランプ・調光器をご使用になりますと調光制御が正しく動作しなかったり、火災・器具故障の原因となります。

型番	定格電圧	セラルクス MT150W
Q-150N	-	(11台)
ELX03005	100V	5台(50台)
X-239W		
X-240W	200V	

() 内は信号供給のみの台数

◆ 取付方法

1・安全確保の為、電源ブレーカー及び電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

2・器具重量に耐える様、天井の取付部の強度を確保し、指定の埋込穴をあけてください。

型番	埋込穴寸法
ED-4260SA/B, 4261WA	φ150±2 mm
ED-4189SB	φ175±2 mm

⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・光モレの原因となります。

3・電源線を端子台に接続してください。



- 電線はストリップ長 15mm にむいてください。
- 電線を奥まで確実に差し込んでください。
- D種接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

4・本体を埋込穴に入れてください。

- 反射板を本体からはずしてください。

5・本体を固定してください。

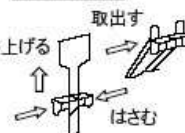
取り付け方



① バネを本体側に押して器具を天井開口部に引き上げて下さい。

② 本体内部バネの平らな部分を引き降ろし天井面としっかりとさみ込んで下さい。

取りはずし方



③ 本体を天井から取り外す場合は、バネ両側をはさみ押し上げバネ取付穴より取り出してください。

⚠ 取付けに不備がありますと落下の原因となります。

6・反射板を取り付けて下さい。

- 反射板取付バネに合わせて、反射板を押し込んでください。
- 落下防止チェーンを必ず取付けてご使用ください。

⚠ バネに確実に引っかけてください。不十分ですと、振動による部品落下の原因となります。

7・ランプを確実に取り付けてください。

⚠ ガラス管を強く握ったり、ひねったりしますと、破損・怪我の原因となります。ていねいに扱ってください。

⚠ 点灯中や消灯直後にランプを素手でさわりますと、やけどの原因となります。消灯 20 分後にしてください。

8・同梱のシールより、ご使用になるランプシールを選んでランプ交換時に確認しやすい位置(反射板の内側)に貼り付けてください。

■ 清掃方法について

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をうすめ布につけ、よく絞ってから器具を拭きとり、その後乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のものまたは酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

- 電源工事が必要な場合は、電気工事に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄営業所へお問合せください。